

そうさ！！匝瑳で暮らそう 匝瑳市での暮らしをご紹介します！



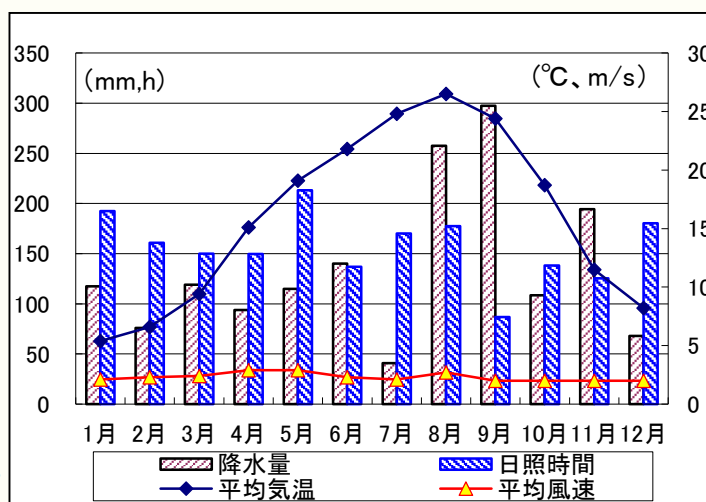
海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち

匝瑳市は、千葉県の北東部に位置し、東京都心から約70km、千葉市から約40km、成田空港からは約20km（自動車では約30分）の距離にあります。面積は101.52平方キロメートルで、みどり豊かな恵まれた自然と歴史のある街です。



市の北部は、谷津田が入り組んだ複雑な地形の台地部となっており、里山の自然が多く残されています。南部は平坦地で、市街地を除いてほとんどが田園地帯となっており、白砂青松の続く九十九里海岸に面しています。

気候は、夏は涼しく冬暖かい海洋性気候で、年平均気温約15度、年間降水量は約1,400mmと過ごしやすい気候です。冬でも降雪はほとんど見られません。



匝瑳市への交通アクセス

○自動車

銚子連絡道路、横芝光ICから約15分

※東京都心から、京葉道路、千葉東金道路、圏央道、銚子連絡道路を利用し、約80分

○鉄道

東京駅から特急で約90分

○高速バス

東京駅八重洲口から約110分





先輩移住者に聞く 匝瑳市での暮らし

古民家サロンでおもてなし



塩浦 卓介（しおうら たくすけ）さん

移住までの経緯など

「地元素材を使った手作り菓子と紅茶で、八日市場をもじったメニュー『八菓一葉』をお出ししています」と来店者をもてなすのは、埼玉県出身で、禅僧でありながらティーコーディネーターの資格を持つ塩浦卓介さんです。小高にある日本画家の元邸宅に、里山の雰囲気を感じてアフタヌーンティーを楽しめるティーサロン「○△□（まるさんかくしかく）」をオープンしました。

退職した母の老後の生活のことや、自身の新しいことに挑戦したいという思いから、北海道から九州まで移住先を探したという塩浦さん。「気候が温暖で首都圏からも近く、辺り過ぎないという条件に合致するこの物件にたどりつきました」と言い、母の一穂（かずほ）さんと叔母でパティシエの二実（ふたみ）さんと共に匝瑳市へと移住。家族「3人4脚」で店を切り盛りします。

よかったこと・苦労したこと

移住する前はご近所関係に心配もあったそうですが、「皆さん温かく受け入れてくれました。地域の人もおしゃれをして紅茶を飲みに来てくれるんですよ」と笑顔で話します。

「千葉は海のイメージが強かったけれど、市の北部は起伏に富んでいて“意外な発見”でした。すばらしい谷津田の景色に、『なぜ今まで匝瑳市を知らなかったんだろう』と思いました」と話す塩浦さん。これまでの生活と比べると上水道やごみ収集などに関してギャップを感じることもあるそうですが、「ここには海に山、素晴らしい自然があります。そして何ととっても食べ物。新鮮な野菜、おいしい肉があって、とても贅沢ですね」と声を弾ませます。



家族でお客様をおもてなし

移住年	平成28年
年代	30代
家族構成	母、叔母
職業	ティーサロン「○△□」経営



「ここはとても贅沢なところですね」





先輩移住者に聞く 匝瑳市での暮らし

夢だったカフェをオープン！



荒井 耕市（あらい こういち）さん

移住までの経緯など

アメリカンスタイルの内外装に、男心をくすぐるインテリア。カフェ「CAMP-A」のマスター、荒井耕市さんは、東京都出身で、平成28年に匝瑳市へ移住してきました。店内には子ども連れの常連客がいて、とてもアットホームな感じが感じ取れます。

「自衛官をしていましたが、以前からカフェを開きたいなと思っていて、退官を目前にして物件探しを始めました」という荒井さんが匝瑳市への移住を決意したのは、平成28年初夏に物件の下見に訪れたときのこと。「趣味でバイクにも乗るので、“ガレージ付き”というのも魅力だった」とはにかみながらも、「その日は暑くて、田んぼからこの高台へ通り抜けてきたゆったりとした風が、とても心地良く感じたんです。周りを森に囲まれて、ここから望む景色も素晴らしくて『ここしかない』と思いましたね」と話します。

よかったこと・苦労したこと

「地域の人が良い人ばかりで、温かく迎え入れてくれたんです」と語る荒井さん。自衛官という職業柄、転勤も多く、都会では地域の人との交流もあまりなかったそうです。

「ここに来てから地元の付き合いをする中で、集まりでもよく店を利用してもらっています。朝起きると玄関先に野菜が置いてあったこともあり、『これが本来の人の生活か』と思いました。八重垣神社祇園祭では神輿を担がせてもらい、気に入ってしまっただ半纏も買いました」と感動しきりです。“男の夢”をかなえ、地元に関わり込んだ生活を送る荒井さん。「今のところ苦労はない」と言い、「ここにもみんなが来てくれるので、毎日が寂しくないですね」と話してくれました。



「景色と風が最高です」と話す荒井さん

移住年 平成28年
年代 50代
家族構成 単身
職業 カフェ「CAMP-A」経営



アメリカのダイナー風の店内



匠瑤市への移住をサポートする制度・助成金（一部）

住宅支援

○転入者マイホーム取得奨励金

匠瑤市に転入し、新築または中古住宅を取得した人に奨励金を交付しています。
（新築最大100万円、中古最大60万円）

○空き家バンク

匠瑤市内の空き家情報を提供しています。



創業支援

○空き店舗活用支援事業補助金

匠瑤市内の空き店舗を活用して事業を行う人に、店舗の改装費や賃借料の一部を補助します。（2年間で最大200万円）

○創業塾

創業に必要な経営・財務・人材育成・販路拡大に関する知識を習得するためのセミナー「創業塾」を開催しています。



○農業後継者新規就農支援助成金

匠瑤市内に住む40歳以下の新規就農者で、千葉県海匠農業事務所が開催する農業経営体育成セミナーを受講した人、または千葉県指導農業士から6か月以上の技術研修を受けた人に、年間20万円の助成を行っています。



子育て支援

○子ども医療費の無料化

高校生世代までのお子さんの医療費を、保険診療の範囲内で助成します。
所得制限はありません。



○第3子以降の保育料無料化、給食費免除

第3子以降の保育料を無料にしています。また、第3子以降の給食費を無料にしています（いずれも18歳未満の子どもが3人以上いる家庭が対象です）。

○つどいの広場

3歳くらいまでの子どもとその保護者を対象に、親子同士の交流、情報交換などを行っています。「子育てアドバイザー」が常駐し、子育てに関する相談、情報提供、講習なども実施しています。

○チャイルドシート購入費用の助成

新品のチャイルドシートで、保安基準の認定（Eマークなど）を受けたものの購入費用を、最大1万円助成しています。

【制度や助成は、令和3年2月現在のものです】

【お問い合わせ・ご連絡先】



匠瑤市役所 企画課 まちづくり戦略室
〒289-2198 千葉県匠瑤市八日市場ハ793番地2
Tel : 0479-73-0081 Fax : 0479-72-1114
<https://www.city.sosa.lg.jp/dir000034.html>
mail : k-senryaku@city.sosa.lg.jp

